



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

## 知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 3965号 2017.10.18 発行

**障害年金、受給権は申請から5年で時効に 最高裁判決** 朝日新聞 2017年10月18日

5年間の時効を理由に障害年金を受け取れなかったのは不当として、札幌市の男性が国を相手に不支給とされた年金約2750万円の支払いを求めた訴訟の判決が17日、最高裁第三小法廷（木内道祥裁判長）であった。木内裁判長は、受給権は申請から5年さかのぼった分に限られるとした二審・札幌高裁判決を支持。男性の上告を棄却した。

判決によると、男性は1970年6月、交通事故でけがをした。2011年6月、厚労相に障害年金の裁定と支給を申請。受給権は70年6月に発生したと裁定されたが、申請から5年さかのぼった分の年金しか受け取れなかった。

障害年金は、申請に基づき、国が裁定しなければ支給されない。「時効の起算点は、裁定が本人に通知された時点」とする判例もあったが、第三小法廷は「裁定は、受給権があるかを確認するものに過ぎない。裁定前であっても、時効は進行する」と結論づけた。（岡本玄）

### 運転中になぜキレやすい？



のか取材しました。（ネットワーク報道部記者 間野まりえ）

交通心理学が専門の実践女子大学の松浦常夫教授は、怒りの感情が高まって交通トラブルが犯罪行為に発展する現象は「ロードレイジ」と呼ばれていると指摘します。

**実践女子大学 松浦常夫教授**

松浦教授は「高速道路を運転する時は、スピードを出して移動することで脈拍や血圧が上がるなど、神経が高ぶり、より感情的になりやすい。これを心理学では『覚醒水準が高い状態』と言い、この状態で、ほ

NHK ニュース 2017年10月17日

東名高速道路でワゴン車が大型トラックに追突され、夫婦2人が死亡した事故で、別の車でワゴン車の走行を妨害したとして25歳の男が逮捕されました。男は、現場手前のパーキングエリアで通行の妨げになると注意されたことに腹を立てたことから、妨害する行為に及んだと見られています。車を運転中にささいなことで腹を立て、攻撃的になる人を見かけた人もいますが、ドライバーはなぜ怒りやすくなる



管野彰彦 野田綾、首都圏放送センター記者

かの車が割り込んできたり、進路を邪魔されたりすると怒りの感情が出やすくなる」と指摘します。

### ” 覚醒水準 ” 高くなり怒り増幅

交通心理学が専門の実践女子大学の松浦常夫教授は、怒りの感情が高まって交通トラブルが犯罪行為に発展する現象は「ロードレイジ」と呼ばれていると指摘します。

松浦教授は「高速道路を運転する時は、スピードを出して移動することで脈拍や血圧が上がるなど、神経が高ぶり、より感情的になりやすい。これを心理学では『覚醒水準が高い状態』と言い、この状態で、ほかの車が割り込んできたり、進路を邪魔されたりすると怒りの感情が出やすくなる」と指摘します。

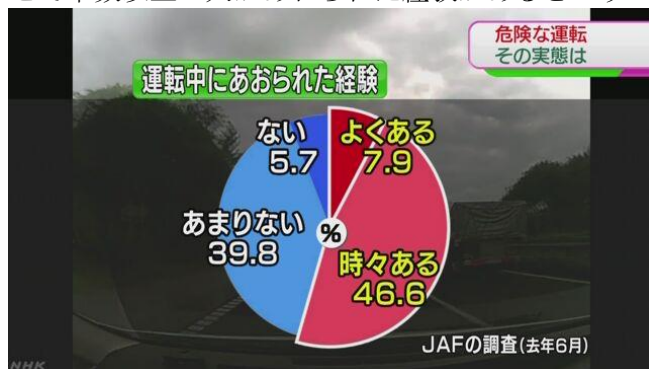
また、高速道路の場面にかぎらず、走行中は、ほかの車と意思疎通を図るのが難しいため、威嚇されたなどと誤解しやすくなると言います。例えば、軽く注意を促すつもりでパッシングされたとしても「挑発された」と感じたり、前の車が無意識に車線変更してきた時に「邪魔をされた」と思ったりするということです。

そのうえで、松浦教授は「もともと運転中は自分の部屋にいるような錯覚に陥りやすく、好きなようにふるまうことができると思いやすくなる。こうした状況の中でほかの車が自分の意図に反する行動をとると、攻撃的な意図がなくても、被害を受けたという錯覚が生まれ、そのことが怒りを増幅させることになる」と指摘します。

### 半数以上が「運転中にあおられた」

J A F = 日本自動車連盟のアンケートでは、回答したドライバーの半数以上が、運転中に後ろからほかのドライバーにあおられた経験があると答えています。J A F は去年 6 月、全国の自動車ユーザーを対象に、インターネットを通じて交通マナーに関するアンケートを実施し、6 万 4 6 7 7 人から回答を得ました。

この中で、運転中に後ろからほかのドライバーにあおられた経験があるかどうか聞いたところ、「よくある」と答えた人は 7. 9 %、「時々ある」と答えた人は 4 6. 6 % で、合わせて半数以上の人があおられた経験があるということです。



### 感情をどうコントロールするのか

岐阜県各務原市にある「那加自動車学校」では、ドライバーの感情をコントロールする方法を指導しています。運送業者などからの依頼を受けて、受講生に教習コースを走行してもらい、その際に、助手席に乗った教官が「急いで運転して」などと、あえて焦らせる発言をして安全運転ができるのかを確認しています。この講習で、多くのドライバーが左右の安全確認を忘

れるなど感情の乱れからいつもどおりの運転ができなくなるということです。

この自動車学校では、ドライバーに対し、運転中に怒りを覚えた時は事故の危険が高くなるとして、短い時間、気を紛らわせて怒りの感情を抑えるよう呼びかけています。具体的には、その時に感じたことを言葉に出すことで感情を落ち着かせるというもので、自動車学校によりまずと心理学の分野で「カタルシス効果」と呼ばれているということです。

### イライラを6秒あけて冷静に

怒りの感情と上手に向き合うための心理トレーニングの普及を行っている東京・



港区の日本アンガーマネジメント協会も言葉に出して気持ちを落ち着かせる「カタルシス効果」は、危険な運転を減らすのに重要だと指摘します。



日本アンガーマネジメント協会の安藤俊介代表理事は、イライラした場合でも、6秒、間を置くことで多くの人は冷静になることができるので、その間に言葉に出して気持ちを落ち着かせるのが望ましいと言います。

その際に有効なのが、イライラする場合を想定して、自分自身にかける言葉をあらかじめ用意しておくことで、「大丈夫」とか「たいしたことない」といった、前向きな言葉を言い聞かせることが大切だと言います。また、温度計をイメージして、自分がどれくらい怒っているのかを客観的に考えることで、怒りを行動に移すのを避けることができると指摘します。

つた、前向きな言葉を言い聞かせることが大切だと言います。また、温度計をイメージして、自分がどれくらい怒っているのかを客観的に考えることで、怒りを行動に移すのを避けることができると指摘します。



#### 安藤俊介 代表理事

安藤代表理事によりますと、特に自分の運転技術がうまいと思い込んでいる人や、ふだんおとなしい人、それにプライドが高い人が怒りやすくなる傾向があるということで、「そういった自覚がある人は、家族や大切なものの写真を手元に置いたり、車内に貼っておくことで、迷惑をかけたり失ったりするリスクが頭に浮かび、危険な運転の抑制になる」と話

しています。

#### トラブル回避の方法は？

それでは、逆に危険な運転をする車に巻き込まれそうになった時には、どのように行動すればいいのか。

安藤代表理事は「後ろからあおられたり、前に割り込まれたりした時にも絶対に挑発に乗ってはいけない。危害を加えようとする相手から離れることが大切だ」と指摘します。

また実践女子大学の松浦常夫教授はトラブルを回避するための具体的な回避行動について「危険を感じたらまずは逃げるのが大事で、自分の車を路肩に寄せて先に危険な車を行かせるなどして接触を避けるようにしてほしい。それができない場合には車の外に出ずに、車内で警察などに連絡するべきだ」と指摘します。



#### 悲劇を繰り返さないために

車を運転していると、幅寄せやあおりなどの乱暴な運転をされて、イラッとするところがあると思います。

しかし、今回の東名高速道路での事故に見られるように、交通トラブルは一步間違えれば、大惨事につながりかねず、その代償は極めて大きくなります。

今回のような悲劇を繰り返さないためにも、

運転手一人一人が心に余裕を持って、安全運転を心がけることが何よりも求められています。

名古屋大に「ジェンダー図書館」11月開館 性差考えるデザイン 福岡市の会社が設計

### 「問題提起の場に」

トイレの扉のマーク。ワンピースを着た男性（左端）やズボンをはいた女性（右端）をイメージしたイラストが並ぶ

図書館の完成予想模型と馬詰菜央さん（中央）、佐



藤俊郎社長（右）、共に設計を担当した「キャディスと風建築工房」の田中康裕さん

「男は仕事、女は家庭」といった社会的につくられた性「ジェンダー」に関する書籍や資料約4万点を収蔵する図書館が11月、名古屋大東山キャンパス（名古屋市）に開館する。設計したのは福岡市南区の設計会社「環境デザイン機構」の馬詰（うまづめ）菜央さん（30）ら。トイレのサインやカフェの椅子など、随所に男女の性差について考えさせ

るデザインを施した。馬詰さんは「問題提起の場となれば」と話している。

図書館の名称は「名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ（GRL）」で、2階建て、延べ床面積約840平方メートル。11月1日の開館予定で、市民や他大学の学生にも開放する。女性の人権運動の歴史や性差を巡る社会問題を扱った本、同性愛者の女性が書いた日記など、ジェンダー研究に関する国内外の書籍を誰でも読むことができる。

外観は一戸建て風。「家事は女性の仕事」という固定観念で「女性を縛り付けてきた家」のイメージをあえて取り入れ「女性運動の原点を見詰めてもらいたい」（馬詰さん）との思いを込めた。3カ所あるトイレのうち2カ所は男女共用とし、入り口には男性、女性を示す一般的なサインに加え、スカートをはいた男性、ズボンをはいた女性をイメージしたサインも表示。性的少数者（LGBT）を含め、あらゆる人のトイレであることを表した。1階のカフェには男女のお尻をかたどった椅子を置く。体格の違いを体感し、性差を考えるきっかけにしてもらう狙いがある。

環境デザイン機構の佐藤俊郎社長（64）は「ジェンダー専門の図書館は日本では初めてだと思う。性の違いとは何か。ジェンダーを考える入り口にしたい」と設計に込めた思いを語った。

### 血液検査でバセドー病再発を予測 東京医科歯科大 京土井通信 2017年10月18日

甲状腺のホルモンが過剰に分泌されて起きるバセドー病で、治療後に再発しやすいかどうかを血液検査で予測する手法を開発したと東京医科歯科大などのチームが18日、米専門誌に発表した。バセドー病は再発率が高いことが問題とされており、投薬や手術など再発を防ぐための治療法を選ぶのに役立つ成果という。

バセドー病は喉の甲状腺が腫れるほか、動悸や発汗などが主な症状。女性に多く、再発したり治療中に薬の効きが悪くなったりする患者が20～75%を占める。

チームは再発を繰り返す患者の血液を調べ、白血球で特定の遺伝子の働きが増しているのを発見した。

### きつい昼夜逆転シフトで短命に マウス体内時計に乱れ 朝日新聞 2017年10月17日

長期間にわたって頻繁に昼夜が逆転して体内時計が乱されると、寿命が短くなる傾向にあることを、京都府立医大の研究チームがマウスの実験で明らかにした。人間でもシフト

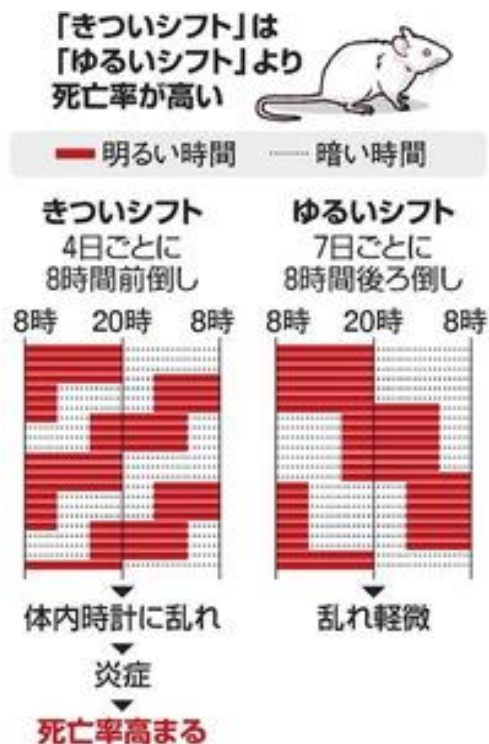
勤務の職場は多いが、シフトの組み方によって体の負担や体内時計の乱れを減らせる可能性があるとしている。国際科学誌に発表した。

体内時計が乱れると、睡眠障害など様々な病気のリスクが高まることが知られ、老齢マウスの実験で死亡率が上がることも分かっているが、長期的な影響は不明だった。

八木田和弘教授（環境生理学）らのチームは、明るい時間帯を7日間ごとに8時間ずつ後ろ倒しにずらしていく「ゆるいシフト」と4日間ごとに8時間ずつ前倒しする「きついシフト」の二つの環境下でマウスを育て、1年9カ月の長期間にわたり行動リズムの変化などを調べた。

ゆるいシフトだと体内時計に乱れは出なかったが、きついシフトではマウスが変化に適応できず、活動や休息の行動リズムが昼夜と関係なく乱れた。きついシフトは34匹中9匹が死んだのに対し、ゆるい方は14匹中1匹だけで、死亡率はきつい方が4.26倍高いと推定された。死んだマウスの67%で白血球の増加など炎症反応が確認された。

八木田さんは「シフト勤務のタイプによって健康への影響が異なる可能性がある。どんなシフトなら負担が少ないのか研究したい」と話している。（西川迅）



### 特殊詐欺防げ 福山通運今里支店が防犯活動

大阪日日新聞 2017年10月17日



車体に防犯啓発ステッカーを貼る従業員＝16日、大阪市東成区の福山通運今里支店

大阪市東成区の福山通運今里支店（三垣聡支店長）で16日、従業員が集配中に特殊詐欺などの被害防止を啓発する、防犯活動の発足式が行われた。特製の防犯啓発ステッカーを貼った集配車両が次々と出発し、集配エリアの人々に防犯意識の高揚を訴えた。

ステッカーは東成署（八尾昇平署長）が、20日まで展開中の「全国地域安全運動」にちなみ作成。集配業務で地元をくまなく回る同支店に、車両への貼付を依頼し賛同を得た。

式では三垣支店長が、従業員約50人を前に「地域を回る皆さんと協力して犯罪防止に努めたい」とあいさつ。八尾署長から認定証とステッカーを受けた。従業員は、配達先で被害防止を呼び掛けるほか、啓発チラシを手渡すなど地道な防犯活動に努めるといふ。

同署によると、管内の高齢者などを狙った特殊詐欺は、昨年1年間で7件発生（被害額約2600万円）だったが、今年は16日現在で16件発生、被害額は約3千万円に上る。

### 社説 職場のストレスと精神疾患 心の健康管理が不十分だ

毎日新聞 2017年10月18日

働く人の過労死・過労自殺を防ぐには、長時間労働の規制のみならず、心の健康を保つ

方策が企業に求められる。

厚生労働省は働く人の過労死や精神疾患の現状をまとめた白書を発表した。それによると、2016年度に過労死や過労自殺（未遂を含む）で労災認定された人は前年度より2人増えて191人に上った。

精神疾患による労災認定も増加傾向にあり、16年度は過去最多の498件だった。こうした中、働く人の心のケアに取り組んでいる企業は次第に増えて約6割に上る。

従業員50人以上の企業に対し、仕事に関して社員がどの程度ストレスを抱えているかを質問する「ストレスチェック」が2年前から義務づけられた。これが取り組みに影響していると考えられる。

厚労省が専門家に委託した調査では昨年、ストレスチェックの制度がある企業での受検率は高く、約9割に上った。高いストレスがあると認められたのは全体の約14%だった。

しかしこの調査で、職場環境が改善されたと回答した人は約6%にとどまっている。ストレスチェックの制度は導入したものの、その結果を有効に活用している企業が少ないとみられる。

実際、高いストレスがあるとされた社員と医師との面接を実施し、診断に基づいて職場環境の改善につなげた場合、社員のストレスが軽減されているケースが多い。

ストレスを生む事情は職場の種類によっても異なる。

厚労省の白書によると、バスの運転手を感じるストレスや悩みは「長時間労働の多さ」が最も多く、5割近かった。一方、トラック運転手の場合は荷主の都合で仕事時間が左右されることなどによる「精神的な緊張・ストレス」が4割を超えた。職場ごとの対策が必要だろう。

ストレスチェックの制度を生かすには、本人のプライバシーを守り、不当な配置転換などの不利益が生じないようにするのは大前提だ。

心の健康を保つには「仕事に誇りややりがいを感じる」ことが重要とする研究結果もある。

企業が働く人の立場になって、健康を本気で守ろうとしているかどうか。その姿勢が問われている。

## 社説 日本の岐路 財政立て直し こぞって後回しの無責任

毎日新聞 2017年10月18日

衆院選の各党公約は、いずれも歳出の膨張策を並べているのが特徴だ。財源が問われるが、与党は2019年の消費増税による税収の一部を借金返済に回さないと表明し、野党は増税自体に反対している。

日本の財政は1000兆円超の借金を抱え、危機的状況にある。それなのに健全化はこぞって後回しだ。

自民党は過去に公約した基礎的財政収支の20年度黒字化目標を削除した。社会保障や公共事業などの経費を借金に頼らずに賄えるかを示すが、安倍晋三首相は黒字化の前提となる消費増税の税収の一部を教育無償化などに充てると方針転換した。

首相は「急速に少子高齢化が進む中、2兆円規模の政策を実施し大改革を成し遂げる」と語った。しかし、借金返済を減らすのなら、赤字国債の発行で賄うのと変わらない。

少子高齢化を「国難」と呼び、政策の信を問うと衆院を解散したのは首相だ。それほど重くみているなら、今後生まれる世代につけ回しせず財源を確保する責任があるはずだ。

しかも首相は、基礎的財政収支の20年度黒字化について「困難となる」と述べただけで、新たな目標時期も示さなかった。健全化の具体的道筋を示すのは与党の責務だ。放棄したと言われても仕方がない。

野党はもっとあいまいだ。

希望の党や立憲民主党、共産党なども教育無償化を打ち出したが、消費増税は凍結・中

止を主張する。

希望は基礎的財政収支の20年度黒字化を非現実的と指摘した。収支の改善は、経済活性化による増収や歳出の見直しで図るという。

ベーシックインカム（最低所得保障）導入や医療費などの負担軽減を羅列するが、ばらまきではないか。議員定数削減もうたうが、社会保障の財源不足を埋めるにはほど遠い。

超高齢化社会に備えて財政の安定を図るため、消費増税と借金返済の枠組みを決めたのが12年の自民、公明、民主の3党合意だ。国家的課題で政争の具にしないとの理念に基づいていたが、ないがしろにされた。

日銀の金融緩和で国債金利がほぼゼロになり、与野党とも財政への危機感がすっかり薄れてしまった。低金利に安住するのは、あまりに無責任だ。不人気でも必要な負担は逃げずに論じるのが政治の役割だ。

### （社説）衆院選 財政再建 将来世代への責務だ 朝日新聞 2017年10月18日

消費増税と財政再建の議論が、いっこうに深まらない。

安倍首相は衆院解散の理由として、消費増税分の使途変更を挙げた。19年10月に税率を10%に上げることで新たに得られる年間5兆円余りのうち、借金減らしに充てる分を減らし、子育て支援などに回す。「国民と約束していた税の使い道を変える以上、信を問わなければならない」というのが首相の説明だ。

しかし、高齢者向けと比べて手薄な現役世代への支援が必要であることは、この十年来、繰り返し指摘されてきた。野党も子育て支援の充実などには反対していない。

国民に問うべきなのは、使途変更の是非ではない。

首相は基礎的財政収支を20年度に黒字化する目標を同時に先送りした。「財政再建の旗は降ろさない」と言うなら、使途変更によって生じる財政の穴をどう埋めて、いつごろ黒字化するのか。そして、全世代型に転換するという社会保障を財政でどう支えていくのか。

そうした点が関心事なのに、首相は口をつぐんだままだ。

先進国の中で最悪の水準にある財政状況を考えれば、将来世代へのつけ回しを抑えるためにも、国民全体で広く負担する消費税の増税が避けられない。そう正面から訴えることが、増税に対する国民の理解を深めることにつながる。

しかし首相は増税自体については詳しくは語らず、もっぱら子育て支援などの充実を強調している。解散表明後のテレビ番組で、消費増税を先送りする可能性に触れたこともある。既に2度増税を延期してきただけに、本気度が疑われかねない。

野党各党も、財政再建については「現実的な目標に訂正する」（希望の党）などとしている程度で、どんな道筋を考えているのかははっきりしない。消費増税の凍結や反対を唱えながら、それに代わる財源は「大企業の内部留保への課税検討」（希望）、「国会議員の定数・歳費の3割カット」（維新）など、実現性や財源としての規模に疑問符がつくものが目立つ。

超高齢化と少子化が同時に進む中で、社会保障と財政の展望を示すことこそが、政治に課された責務だ。10%への消費増税や基礎的財政収支の黒字化も、小さな一歩に過ぎない。

所得税や相続税、法人税も含めて今後の税制を描く。予算を見直し、非効率な支出をなくしながら配分を変えていく。

与野党ともに、将来の世代まで見すえて、負担と給付の全体像を語るべきだ。

### 社説:医療・介護 長期の見取り図を示せ 京都新聞 2017年10月18日

「全世代型」の社会保障への転換で、子育て世代にお金を回す。ならば、なおのこと超高齢社会の医療・介護制度の展望が問われよう。団塊の世代が全て75歳以上となる2025年が近づくが、各政党の公約からは、膨張する給付と制度維持に関する取り組みの「本

気度」が伝わってこない。

高齢者であっても、すでに負担増の対象外ではなくなりつつある。医療では、70～74歳の窓口負担や70歳以上の自己負担の上限額が相次いで引き上げられた。介護では、原則1割の自己負担が、一定の所得のある人については2割となり、来年8月からは3割になる人もある。

介護保険料の支払い開始年齢を40歳から下げる案も取り沙汰される。この先どこまで負担が増すか見通せないことが、幅広い世代の「将来不安」につながっている。

政治に必要なのは、長期的な負担と給付の見取り図を国民に示し、「人気取り」でない現実的な政策を語ることではないか。

社会保障について、選挙戦では消費税増税分の使い道変更（自民党、公明党）か、増税の凍結・中止（希望の党、共産党、立憲民主党、日本維新の会、社民党）かが争われ、代替財源や長期ビジョンへの言及はほとんどない。給付の膨張を抑える策も乏しく、病氣予防のために自公が医療データの活用を、希望が遺伝子データ分析を挙げている程度だ。

今は多くの高齢者が終末期を病院や施設で過ごしているが、「できるだけ自宅で」というニーズは高い。施設に頼らざるを得ない状況を改善し、在宅を望む人の生活を支えるケアシステムの確立が急がれる。高齢患者や家族の相談に幅広く対応できる医師の養成も必要だ。こうした点に関して政党や候補の考えをもっと聞きたい。

来年度は医療、介護の公定価格である診療報酬、介護報酬の6年に1度の同時改定の年にあたる。万人単位で不足する介護人材の確保、認知症対策、在宅療養に不可欠な早朝深夜の訪問診療・介護の充実などを進める上で、今回の改定は大きな転機となる。介護職を外国から積極的に迎え入れるなら、その家族を含めたさまざまな定住サポートも必要になる。

2025年の次には、団塊ジュニア世代が65歳を超える2040年ごろに高齢化のピークがやってくる。そこまでを見通しつつ、論戦を通じて未来の社会保障のかたちを示してもらいたい。

## 旧陸軍庁舎を改修、天守閣望む絶景レストラン



読売新聞 2017年10月18日  
大阪城天守閣を望むことができる屋上のレストラン（17日午後、大阪市中央区で）＝金沢修撮影

大阪城公園（大阪市中央区）にある旧陸軍庁舎の洋館を改修した観光施設「M I R A I Z A O S A K A - J O」（ミライザ大阪城、地上3階・地下1階延べ約7000平方メートル）が17日、報道陣に公開された。

総事業費は約18億円で、土産店やカフェなど6店が19日に開業し、天守閣を望むレストランは

来年3月にオープンする。

大阪市から公園の管理を委託された共同事業体が、築86年の旧陸軍第4師団司令部庁舎を耐震補強。外観や正面玄関の階段、手すり、窓枠など一部はそのまま利用してレトロな雰囲気を残した。担当者は「絶好のロケーションで味わう食事は格別。大阪城公園のにぎわいづくりに役立てたい」と話している。

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も  
大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行

